

令和6年度 自己評価・自己点検のまとめ

認定こども園 みどりのかぜ北ウイング

当園では、子どもの健やかな成長と安全を確保していくために、職員一人ひとりの教育・保育の質の向上を図る手立てとしてチェックリストを活用し、良かった点や改善点を再確認し、職員のスキルアップに努めています。

今後ますます地域に根ざした施設となり、みなさまに安心していただけるような環境を整え、子ども・保護者・子育て世帯のために職員一同意識を高めていきます。

また、子ども達の大切な命を預かっているという使命感を持ち、これからも保育の質の向上に努めて参りたいと思います。

1. 自己評価

(1) 教育・保育の質の向上について

- ・保育教諭の専門性の向上のため、園内研修・外部研修・キャリアアップ研修等に参加し、学んだことを職員間で情報共有することで相互に教育・保育の質の向上を図っている。
- ・指導計画の作成し、学期毎に子どもの育ちの様子や振り返りを通して見直しし、よりよい配慮へつながっていくよう努力している。今後も子どもの思いに寄り添い「子ども主体」の保育の展開をしていく。
〈改善策〉
 - ・研修や公開保育に参加するだけではなく、姉妹園へ相互に保育見学に行く機会を設け、環境の構成の仕方や「子ども主体」における保育教諭の動き、言葉掛けを学ぶ。また、学んだことを自園の取り組みや環境に合わせ、どう生かしていくかを職員間で話し合い、保育に活かしていく。

(2) 保護者・地域との連携と支援

- ・SNS を活用し園での子ども達の様子や情報発信をすることができた。また、親子で一緒に楽しめる時間を過ごすことを目的とした講座として、親子でクッキングを楽しんだ。
- ・子育て支援センター「ワインディー」や園開放・一時預かり事業を通し、子育て世帯が気軽に園に足を運び、交流ができている。また、子どもだけではなく保護者同士も気軽に交流できるよう、保育教諭が「ファシリテーター」としての役割を担い、保護者同士がコミュニケーションをとりやすい環境を作るよう努めた。
〈改善策〉
 - ・親子での講座は年1回の開催だったが、保護者からは数回開催の希望があった。感染症流行時期踏まえ開催時期、内容を検討し計画をしていく。
 - ・今後も子育て支援の充実を図り、気軽に足を運んでもらえるような魅力ある居場所づくりに努めていく。

(3) 健康・安全・衛生管理について

- ・健康、衛生管理面では、基本的な感染対策として、手洗いと手指消毒、定期的な換気などの徹底を図ったことで、インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症は見られなかった。また、体調不良児が数名見られた際には、掲示等を通して保護者へ伝え、早期診断、早期治療・感染拡大防止につなげることができた。

・子ども達が安心・安全に過ごせるよう、月に1度の園内外の点検、危険箇所の確認、日々の生活の中での玩具の確認などを意識してきた。安全を第一に考え環境を構成しているが、保育の中ではヒヤリハット事例があった。「子どもの命を守る」を第一に、危険を予測し事故につながることがないように日々確認しながら、よりよい環境づくりに努めていく。

〈改善策〉

・感染症に対する知識や対応方法を再度確認し合うと共に、感染症対策に関する意識を高め、日々の衛生管理等に活かしていく。

・これからも子ども達が安心・安全に過ごしていけるよう、職員間でコミュニケーションをとりながら 常にいろいろなところにアンテナをはり、一人ひとりが危機管理意識を高く持ち、事故防止に努めていきたい。

2. 自己点検の分析

(1) 保育における子ども理解

・子どもの自己肯定感を高められるような言葉かけ、表情から思いや考えを読み取ることによって興味・関心を理解しそれぞれが自信を持って過ごせるようにする。また、職員全員で子ども達の成長を発信・共有し見守っていく。

(2) 職員の意識改革

・報連相報をしっかりとし、職員間での共通理解を図るとともに、教育・保育の質の向上を目指し研鑽を積んでいく。また、広い視野で周りを見て、助け合える関係性を大切にし、仕事の効率化を図っていく。

(3) 保護者との関わり

・送迎の際に子どもの様子や園でのエピソードを伝え、コミュニケーションをとることで信頼関係を築いていく。また、担任に関わらず、どの職員でも保護者への対応ができるように、職員同士の共通理解を図ることが大切である。

3. クレドの見直し

・園の理念が示されている「保育クレド」は園活動においての基本となるものであり、全職員が同じ方向を向いて歩くために必要な道しるべとなる。保育の現場で起こりうる状況を想定し課題等を整理し、解決策を話し合いながら、内容を見直していきたい。

4. まとめと今後の展望

・地域に開かれた園として、子育て世帯が安心して集えるような温かな「居場所」として機能できるように子育て支援の充実を図っていく。

・園児の安全や健康を守ることはもちろん、保育教諭や友達との温かな関わりの中で、信頼関係を築き安定して過ごすことができるようにしていくことが大切であると考えている。子ども達の気持ちをしっかりと受け止めながら、環境の構成や言葉かけなどに配慮し自主性を育んでいけるように努めていきたい。